

共創ケース

渋谷区の住民・来街者・企業・教育機関と共に 新たな循環モデルを実験

Case#1 「コーヒーマッセンジャー」

地域の大学 × 地域のカフェ

店舗から出るコーヒー抽出後の豆かすを、学生が週1回ファームへ運搬、コミュニティコンポストにて週10kgのコーヒー豆かすを堆肥化

- 活動開始：2025年7月～



Case #3 「ふとん農法」

ハニーファイバー社 おたふくわた

使用済み布団綿を畑の下に敷き、作物育成の違いを観察

- 活動開始：2025年4月～



Case# 4 「建築廃材の再利用」

土と野菜社 石膏ボード

廃棄埋め立て処理されていた建築現場で発生する石膏ボードを土壌還元、作物育成の違いを観察

- 活動開始：2025年5月～



Case #2 「つながる畑」

ゆるやかにつながる共創コミュニティ

見知らぬ8人で野菜を育てる仕組みを導入。少人数のため自分ごと化しやすく、積極的な参加と新しいつながりが生まれている(パリ5区の方法に倣う)

- 活動開始：2025年4月～

Case #5 「髪の毛マルチ」

ヘアサロン TWIGGY.

美容室で廃棄される髪の毛を畑のマルチ(土の表面を覆う農業技法)として活用。

雑草抑制や保水に効果

- 活動開始：2025年4月～



harahara farmの5つの種類の畑



つながる畑

- 野菜栽培経験者中心
- 8人グループで18㎡の畑を管理**

学びの畑

- 野菜栽培初心者中心
- 8人グループで18㎡の畑を管理
- 月1回の講座とテキスト、種、苗がセットになっている

みんなの畑

- 上記畑メンバーではない方が、いつでも自由に参加できるエリア
- 公園のように楽しめる

チームの畑

- 芸能プロダクションのスタッフ
- 美容室のスタッフ
- 環境系インフルエンサーグループがそれぞれグループで参加

実験の畑

- スタッフが管理
 - ふとん農法
 - 石膏ボードの実験 など

harahara farmの コミュニティコンポスト実験

東京を循環させよう
資源と人の地域循環

家庭用コンポストの基材



- 原宿キャットストリート
精米店の米ぬか
- 新木場製材所の木くず

渋谷区神宮前中心

- 家庭の生ごみ



※基材の木くずと米ぬかの中に
生ごみを入れて
一時保存 & 一次発酵

community
compost

大学生がコーヒーマッセンジャーとして豆かすを運んでいます
カフェからは、学生にコーヒーマッセンジャーのギフトが毎回あります

- 近隣のカフェの
コーヒーマッセンジャー



- ファームの雑草
- 作物残渣



- できた堆肥：ファームで利用

これまでの活動（2025年9月28日現在）

● イベント開催

- 苗植え体験、堆肥づくり講座、日干しレンガの防災かまど作り、ミニ防災フェス＆収穫祭（防災かまどをつかった収穫野菜のバーベキュー）、オープニングイベント、畑での野菜の生育講座、野菜の座学基礎講座、コンポスト制作（キエーロ）ワークショップ、防災植物で焼きそばを作ろう、コンポストーク（コンポスト交流会）、藍のたたき染ワークショップ、フレッシュバジルのジェノベーゼ作り、切り返し不要のコンポスト「HOT BOX」お披露目会、など 感謝祭（11月23日の予定）

● 栽培作物

○ 野菜

- トマト、ナス、ピーマン、きゅうり、ししとう、唐辛子、大葉、赤じそ、モロヘイヤ、ルッコラ、とうもろこし、ゴーヤ、サツマイモ、じゃがいも、里芋、ケール、キャベツ、レタス類、ブロッコリー、カリフラワー、カボチャ、コリンキー、空芯菜、インゲン、ジュウロクササゲ、オクラ、ネギ、大豆、稲（バケツ）他

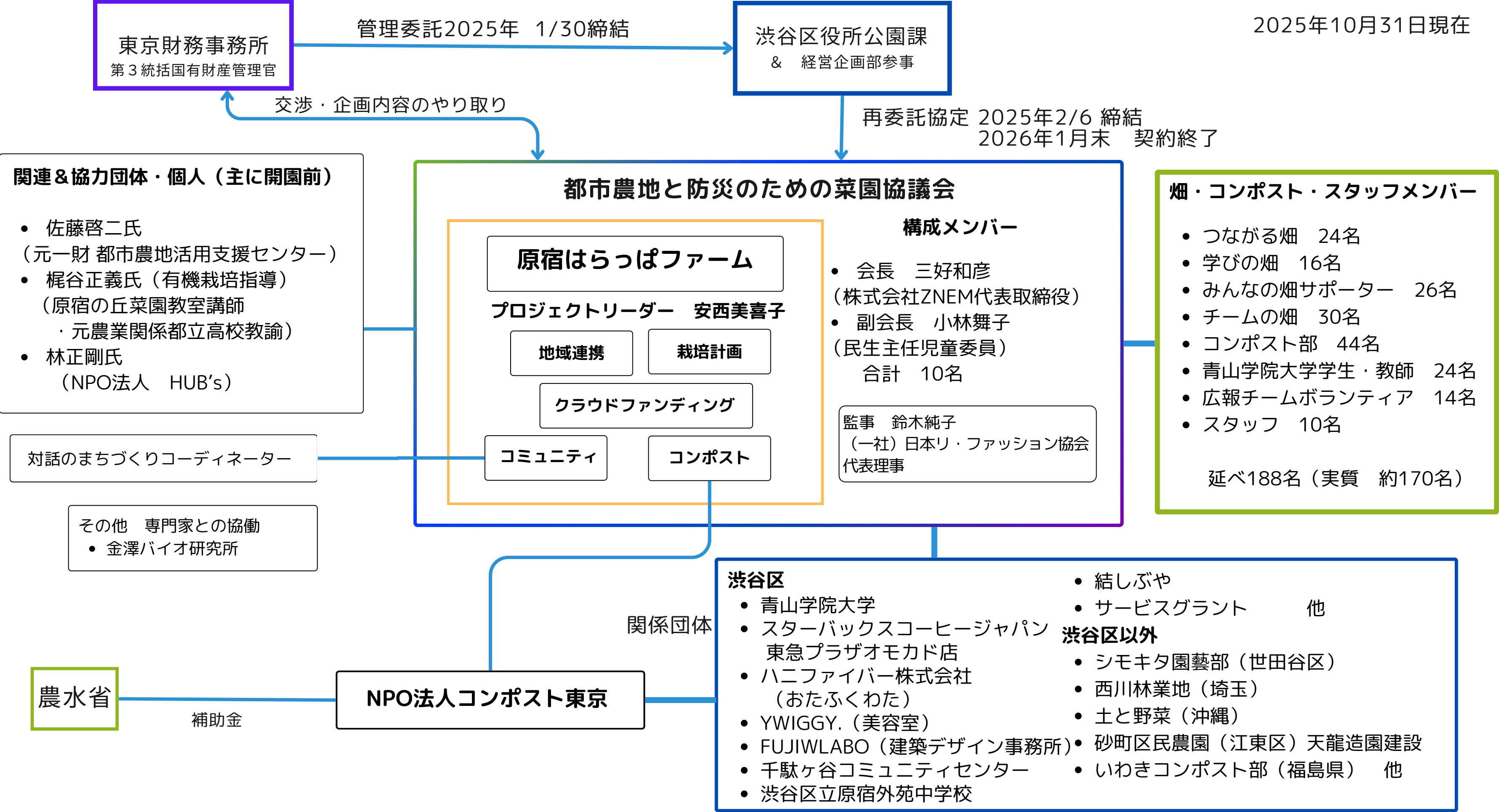
○ ハーブ・花

- バジル数種、レモングラス、レモンバーム、レモンバーベナ、ミント、タイム、えびす草、バタフライピー、フェンネル、ローゼル、ディル、セージ、カレーリーフ類
- マリーゴールド、ひまわり、コスモス他

○ その他

- ヘチマ、蓼藍（染色用）、コットン他

2025年10月31日現在



都市型共創ファーム 原宿はらっぱファーム

わたしたちは循環するひとつながりの
「いのち」だと感じられる
都市のあり方を目指して



以下の記事は、私たちの活動について
丁寧に取材・ご紹介いただいています

greenz.jp
日経BP

本日の講師 新保奈穂美先生の記事
公益社団法人日本都市計画学会 都市計画報告集
2025年24巻2号

本日の資料



イラスト 中尾直暉